Smile

緑内中
2年A組
第2号

十三人の舞台

十月三日に、緑内中学校文化祭があった。今回の文化祭のテーマは「縦横無尽！最後までやり抜き次なる未来へ！」であった。このテーマの中には、創造的な文化祭を自分たちの手で創り上げたいという生徒十三人の願いが込められていた。今回の文化祭を創造的な物にするには何をしたらよいか、皆で考え、たどり着いたのは「ミュージカル」であった。

そして、候補の中から最終的に「白雪姫」が選ばれいよいよ文化祭に向けての活動は始まった。

一人一人が重大な役目を負って始まった活動は日々試行錯誤の繰り返しだった。

それぞれがやらなければいけないことがある。しかし、誰かの所に人手が足りなければ手伝いに行く。

そんな中であっという間に時間は過ぎ、それと同時に完成に向けてやらなければいけないことも増えていった。

しかし、一人一人がやるべき事を把握して、少しずつ活動は軌道に乗り、当日が近づくにつれてミュージカルの完成度は高くなっていった。

もちろん、ミュージカルの他にも意見発表や英語暗唱、合唱などもしっかりと当日に向けての準備が整っていった。

そして、当日はお客さんが入り少し緊張はしていたが、しっかりと普練習でやってきたことが出せた。もちろん「白雪姫」もしっかりと成功に収めることができたと思う。今回の文化祭では、生徒全員で一つの目標に向かって取り組むことの大切さ、自ら行動していくことの大切さを学ぶ良い機会になった。また、全員で決めた目標もしっかりと達成することができたと思う。

来年の文化祭は自分たちが3年生として中心となってしっかりと取り組みたい。

角材から作る

今回の文化祭で二年生が出した作品は、修学旅行の思い出の絵・木の椅子の二つです。特に、木の椅子作りは製図から始めました。製図は、狂う事なくきれいに書かなくてはいけないので、とても苦労しました。製図が終わると、今度は本格的な椅子作りが始まります。今回は、椅子作り用のキットを使わず角材から作り始めました。木をノコギリで切ったり、機械を使って木を削ったり、キットを使って作るのより大変だったと思います。でも、沢山の経験を積むことができました。

記録更新

十月十八日に緑内中学校全校マラソン記録会が行われました。十一人がこの校内マラソン大会に参加し今までの練習の成果を発揮しました。

マラソンのコースは目立ったアップダウンのない四kmの道のりで、秋という事もあり紅葉がとてもきれいなコースでした。

スタートの合図と共に一斉に走り出しました。先頭を走るのはバスケ部キャプテン二年。その後ろを、一年・二年生男子が追うという白熱のマラソン記録会となりました。

マラソン記録会は、健康・体力の向上を目指して行われました。体育の授業の中で五回走りましたが毎回少しずつ全員が記録を伸ばしていきました。記録はほとんどの生徒が自己記録を更新しました。とても辛かった四kmマラソンでしたが体力向上できたと思います。

部活のキャプテンとして

夏の大会が終わってから、いよいよ一、二年生の部活になった。夏休みはバスケットボール部、バトミントン部共に体力作りの期間となり、長距離のマラソンをやったりした。

今、各部の部員数はバスケットボール部が4人、バトミントン部が2人とどちらも少人数となっている。バトミントン部は個人戦で大会に出場している。

一方バスケットボール部は試合に出られる人数を満たしていないため、新人戦には出られない。その代わりにいろいろなマラソン大会に出場し、体力を高めている。もはや練習メニューも陸上部のようになっている。

この学級の2人がそれぞれの部活のキャプテンをやっている。人数は少ないが、しっかりと責任を持って活動できている。来年になると、新一年生も入り、部活の人数も多少なりとも増え、本格的に最後の夏の大会を視野に入れた練習が始まる。そこで勝ちたいという気持ちがもちろんあるわけで、そのために自主トレーニングをしたりしているわけだ。

最後の夏まで、しっかりキャプテンとして頑張っていきたいと思います。

来年は三年生になり、部活を引退しますが、体力を落とすことなく、記録を更新したいです。

編集後記

今回、第二号を制作し、皆さんにこの新聞を通して緑内中学校の、そして私達の学級の様子を少しでも知っていただけたらと思います。

また機会があれば第3号も制作したいと思います。

制作者

濱田　一美　松岡　美沙希